

2023

令和5年8月21日

第32号

(通算78号)

IBARAKI Prefectural Junior College of Industrial Technology

IT短大VIEW!



1 AIの付き合い方 高校生に伝授



昨今、AI(人工知能)が注目されています。ITリーダーを育成する本校は、AIリテラシーをベースに学生の活用が進んでいます。AIについて研究してきた佐藤秀昭先生(工学博士、技術士:情報工学)は、「次世代のデジタル人材となる高校生こそ、AIに対する正しい付き合い方が大切」と話されています。

今月26日(土)に開催される、本校のオープンキャンパスで、体験授業「高校生、生成AIとどう付き合う」を実施します。この中で生成AIを体験しながら、AIとの付き合い方を考えていく授業となります。

佐藤秀昭先生は「生成AIは、人間の生産活動の効率化に欠かせないものとなりますが、危惧される点も多いので、今回の体験授業で、生成AIとの付き合い方を学んで欲しい」と話されていました。

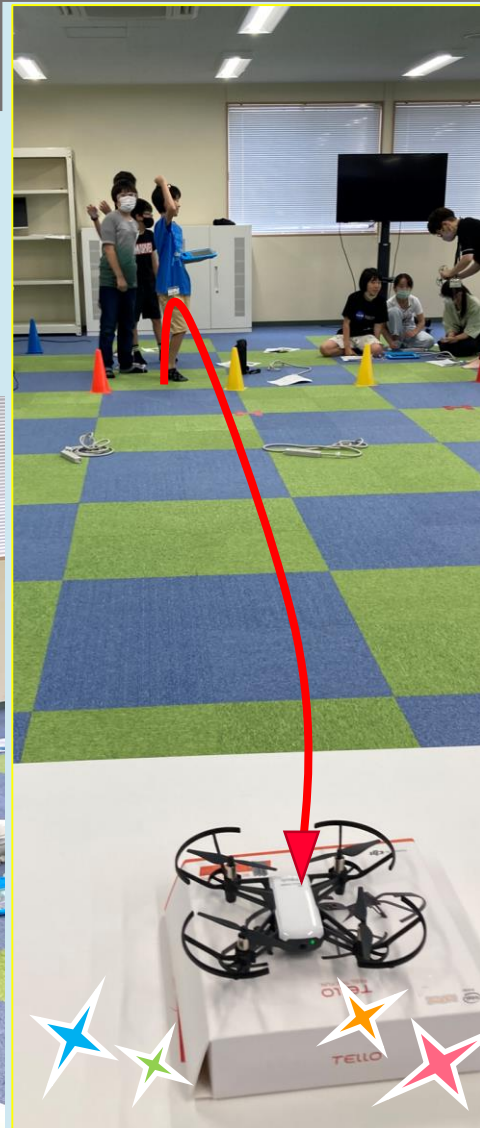
その他の体験授業は、「これからの自動運転」「ドローンの未来と可能性」「ネットワークセキュリティ」「サイバーセキュリティとは」が開催されます。



2 未来のICT人材 集う②

水戸市内の小中学生を対象にした『ICTエキスパートコース』(主催:市教育委員会)が開催されました。

プログラミング(ドローン制御)



↑ ドローンが目標の箱の上に着陸した様子

← 喜び子供たち、中央が安藤颯一さん

ドローン制御では、まず、ドローンの基本操作とプログラムについて学習しました。次に、ドローンをプログラム運転で、目標の箱の上に着陸させるミッション(課題)に挑戦しました。

参加者は、4グループに分かれミッションの解決に向け検討し、ドローンの運転プログラムを作成しミッションに挑戦していました。ミッションに成功した見川小6年の安藤颯一さんは「チームで助け合って、目的地までの距離や高さを正確にプログラミングしました」と笑顔で話していました。

3 交通安全の推進②!

7月26日(水)に実施された「交通安全講話」について、学生の感想を掲載します。

◇要約

●谷田菜月さん(鉾田一高卒)

受講した交通講話のお話は、とてもためになるものでした。茨城県の生活では、自動車は必要であり、交通安全の知識や行動を今一度考えたいと思いました。

特に夜間におけるハイビームの大切さを実感しました。私の自宅周辺や学校への通学路は、基本的に街灯やお店が少なく、夕方から夜にかけて暗いなど本当に視野が悪くなるので、有効に活用していきたいです。

また、ドライブレコーダーの設置の大切さも改めて実感することが出来ました。自分の運転を記録することで、安全運転への意識が高まり、交通事故など、もしもがあった時の証拠にもなります。

自分の不注意や、注意していても交通事故は起こってしまう時があります。

「かもしれない運転」や交通ルールの徹底、近くても危険が予測される道路は避けて別の道路を通るなど、自分にできる限りの対策を行います。

気を引き締め、周囲に迷惑をかけないように運転していきたいです。

